

多度地区小中一貫校整備事業 第8回開校準備委員会 会議概要

開催日時 令和5年2月19日(日) 10:00~11:30

出席委員 24名中 20名

1. 開会

事務局：改めて開校時期についてご報告させていただく。事業者のスケジュールをもとに、学校の竣工時期が令和8年2月頃となることから、開校予定時期を令和8年4月とし、新しい学校での一斉開校とする。子どもたちにとってより良い開校に向け、事業を進める所存であり、引き続きご協力をお願いしたい。

事務局：本日の事項にある、「3. 報告事項」で、事業者提案の概要報告を行うため、事業者が同席している。了承いただきたい。

2. 議事

(1) 経過報告

- ・地域連携部会より経過報告
- ・教育指導部会より経過報告

(2) 校章選定

① 第1次審査の結果報告および最終審査方法について

事務局：(第1次審査の結果報告および最終審査方法について工程説明)

委員長：第1次審査の結果により、6案まで絞られている。本日の最終審査について、欠席委員の票もカウントするという点については、ご異議ないか。

委員：(異議なし)

委員長：欠席委員の事前投票も有効とする。では、選考対象となる6つの案について、グループで意見交流し、その後、各自で投票をすることにする。

②意見交流

③投票

④結果発表

委員長：事務局から結果を発表していただく。

事務局：欠席委員の票も含めて、22票の有効票がある。得票数から、「オ※1」の案が校章デザインの最終案となった。

※1 「オ」は、作品記号を表す。
最終案に選定された「オ」の案は、教育委員会の審議・承認をもって、正式決定となる。
デザインの公表は、正式決定後、4月中を予定している。

委員長：みなさんの投票により、「オ」の校章デザインに決めさせていただきたい。その後、公表するにあたって、開校準備委員会の思いも併せてお伝えしたいため、思いやご意見をいただきたい。

委員：Cグループでは、どれもいい作品ばかりだという意見だった。ただ、子どもたちのデザインが2つ、最終選考まで残っているので、何か賞をつくるなどして、紹介してほしいという意見が出た。

委員：Bグループでも、どのデザインもそれぞれ特徴があっていい、という意見だった。案の中には手書きの作品もあるが、デジタル補正したデザインになると、また見え方がちがったのではないかという意見も出た。また、学校ではどのようなところに校章が記されるのかという、活用例も交流した。「オ」の案については、非常に斬新であるし、遠くから見たときにでも分かりやすいという意見が出た。

委員：Aグループでも、どの作品も、多度の特長である自然や、5校が一緒になることとかが表されているという意見が出た。また、子どもたちの手書きのデザインが、補正されたらどのようなかわからない中で選ぶのは難しいという意見が出た。「オ」の案については、多度の歴史や伝統が表れているという意見が出た。

委員長：ありがとうございました。個性があり、新しい学校がスタートするのにふさわしい作品が選定されたと感じる。

皆さんにお聞きしたいが、「オ」の案で、修正すべきところがあるか。この案を、そのまま採用させていただくということでよいか。

委員：(異議なし)

委員長：では、デザインの修正はなし、ということにする。

子どもたちの案について、3グループともコメントがあったため、何かご対応いただきたいが、事務局はどうお考えか。

事務局：すでに発行済みのかわら版では、全ての応募作品を掲載したが、この6案に絞られたことはまだ公にはなっていない。事務局と学校とで検討させていただき、作品が最終審査対象となった子どもたちには、皆さんから選ばれているということを表明したいと考える。

委員長：頑張ったお子さんに、是非、対応をお願いしたい。

選定された「オ」の案については、開校準備委員会の思いとして、いま出されたような意見を伝えていただき、教育委員会で審議いただくことになる。

本日の議事は、以上である。

3. 報告事項

・事業者提案の概要

事務局：事業者より、提案内容の概要を報告していただく。

事業者：(自己紹介)

(提案概要説明)

事務局：今後は、今までにいただいた皆さまのご意見をもとにまとめた公募資料や、本日、報告いただいた提案内容に基づき、設計を開始していただく。概略設計といった具現化した設計が見えてきた段階において、皆さまにもご意見を頂戴したいと考えている。特にこの場でお聞きになりたいことはあるか。

委員：(発言なし)

4. その他

事務局：本日が、令和4年度の最終の回となる。全体を通して、何かあるか。

委員：いい学校ができそうで、楽しみなところである。

以前、この開校準備委員会で、小学校、中学校の跡地はどのようになっていくのかという質問があったように思うが、どのようにお考えか。中学校では、顧問不足などの関係で、部活が廃部・縮小されていくような流れがある。部活指導を地域移行する流れもあったかと思うが、少年団の指導者の中には地域の方もいると思う。ゆくゆくは、少年団の指導者が、中学校の顧問の人材になるという可能性もあると思うため、少年団の活動場所として残していくかたちを考えていただきたいと思う。

事務局：部活動について、全国的に議論が高まっており、地域移行という回答は出ている。ただ、現状として、検討課題がまだある。今年度は予備的な会として、スポーツ少年団の代表の方や学校関係者など様々な関係の代表に参画いただき、今後の部活動について考える話し合いが行われた。国の動向などの視点が入ってくることであり、次年度以降も本格的な会議をしていくことになっている。ご提供できるようになれば、開校準備委員会でも、順次、お示ししたい。

跡地利用について、現在のところ、庁内で調整をしているところである。防災面、スポーツ少年団のこれまでの活動等々、いろいろな部署にまたがっており、慎重に考えていかないといけないことである。今ようやく検討の第一弾で、庁内協議の段階であるため、適宜、皆様にご提供できる情報についてはご提供したい。

委員：PTA代表として参加しているが、引継ぎのため確認したいことがある。1点めに、地域連携部会から、天王平の交差点あたりに歩道橋やアンダーパス等をつくってほしいというご意見があったと思うが、つくらないという話になっていると聞いている。それは、地域が見守るといふかたちでフォローしていくのかもしれないが、歩道橋等の可能性をゼロにせず残してもらえないか。引継ぎする上で、その可能性の有無を確認したい。2点め、委員会後にかわら版が発行されると思うが、ここでの議論が伝えきられてないと感じる。テレビ放映や、動画の配信など、熱量が感じられるような媒体を考えられてはどうか。3点め、学校の規模に応じて、県の教職員定員数が決まっているかと思うが、多度学園の開校にあたっては、それに加えて桑名市独自で予算を組み、県の定数以上、1.5倍などの正規の教職員を配置するなどを考えていただ

きたい。

事務局：歩道橋について、道路管理者等々と協議をしたが、県道 26 号線においてはつくらず、小山交差点の平面交差で子どもたちの通学を考えている。昨年、警察と協議し、小山交差点の南北方向の歩行者信号の時間間隔を調整していただいたことにより、子どもたちの登下校の流れがスムーズになった。また、信号の待機場所となる歩道のポールを、強度をもったコンクリート製のものに変更した。この先も、子どもたちの安全をより高めるような施策を考えていくが、小山交差点は平面交差で考えている。

事務局：かわら版について、皆さまのご意見を中立的な立場で発信することを心掛けているが、熱量が伝わりにくいというご指摘について、いただいたご意見を参考させていただき、来年度以降、改善に努めたい。

教職員の定数について、現時点でどのようにするという回答はできないが、子どもたちが安心して通えるよう、スクールカウンセラーやスクールハートパートナーなど、関係機関と協力しながら進めていきたい。

委員：保育園保護者としても、子どもたちが県道 26 号線を渡る件について、とても心配している。毎日、保育園の送迎時に県道 26 号線を通行しているが、多くのトラックが通り、スピードも速い。いま、いろいろと対策を進めてもらっているため、良くなっていくと思うが、命にかかわる問題なので、引き続き検討していただきたい。

事務局：本年度も対策の一つとして、登下校時の歩行者信号の時間の調整をさせていただいた。子どもたちの安全を守れるよう、引き続き検討等を行ってみたい。

他に、いかがか。

委員：(発言なし)

事務局：事務局より 2 点連絡をさせていただく。

1 点め、本事業を進めるにあたり、都市計画法に定める都市施設に位置付けるため、都市計画決定を行う。その説明会を、3 月 19 日に講堂にて午前 10 時より開催させていただく。このご案内を、各自治会に回覧していただくため、現在準備をしている。

2 点目め、今回をもって、今年度の開校準備委員会を最終とする。今年度は、校名、校章を選定していただいた。来年度は、校歌等の選定を予定している。引き続き、本事業にご理解ご協力を賜るようお願いしたい。引継ぎされる方は、次の方に経過等を引き継いでいただき、この会に参加していただけるようお願いしていただけるとありがたい。

5. 閉会

以下余白